

## 株式会社KEM 賛助会員に聞きました!

### Q 1、都岳連を知ったきっかけをお教えてください。

都岳連を具体的に意識するようになったのは、小生のクラブ (JECC) の 廣川健太郎が都岳連にかかわるようになったことになった時です。(各種イベント等の提供品等が中心でしたが)

### Q 2、株式会社 KEM 様の歴史をお教えてください。

1986年10月14日創業  
KARRIMOR (カリマー社、イギリス) ~ザック  
EDELWEISS (エーデルワイス社、オーストリー、※現在はフランス) ~ロープ  
MARKILL (マルキレ社、~ドイツ) ~水筒  
3社の出資を得てスタート (独立) 2020年スペインのクライミングシューズメーカー TENAYA 社 (テナヤ) が新たに加わりま 2016年 には某雑誌が選ぶ 100社 (約100万社中) に選出されました。現在は世界各国 14社との契約を結ぶに至っています。また近年ではレスキュー・高所作業に継ぎ、林業用装備品の輸入販売にまで力を入れています。

### Q 3、会社の方の山との関わりをお教えてください。

私個人としては、1. ブロックン山の会 (藤沢) ~今年60年目です。  
2. 東京恋峰倶楽部 (東京) ~今年60年目です。(現会長~松本氏のクラブです。)  
3. JECC (ジャパン・エキスパート・クライマークラブ) 創立~1965年  
4. 第二次 RCC 同人 (上田哲農師推薦で)  
5. 社員ほとんどがアウトドアスポーツに興味を持っている。※(世界中で開催される展示会やセールスミーティングに積極的に参加! 義務! )

### Q 4、これから都岳連に望まれることをお教えてください。

皆さん、それぞれの分野で活発に活動されて事務所の雰囲気も良いと思います。若手をどんどん活用してください。



## 災害は忘れる間もなく・・・

公益社団法人東京都山岳連盟 会長 松本 敏



2020年はオリンピック・パラリンピックイヤーとして、世界中の多くの人の感動と熱狂のスタートとなるはずでした。残念ながら、年明けからのコロナウイルスが猛威を振るい、予定通りの開催を危ぶむ声さえ聞こえてきます。3月に行われたリード・ジャパンカップは感染防止のため無観客試合として行われました。昨年10月の台風19号によってハセツネやアウトドアヴィレッジカップが中止となり、多くの選手や応援者、関係者を落胆させたことは記憶に新しいところです。「災害は忘れたころにやって来る」ではなく、「忘れる間もなくやって来る」しかもある日突然に、の感がいたします。都岳連もこうした不意の災害に備えなければなりません。安全と健康の確保は当然です。同時に公益法人の山岳団体としての社会的使命を果たすことも求められます。多元方程式を解くような困難な問題を解決しなければなりません。こうした困難に直面して頭を抱えることもありますが、幸いにも都岳連には経験豊富で多様にスキルを持つ人材がたくさんいます。それ以上に、賛助会員や優待施設など、都岳連を心から応援してくださる皆様があります。また、ここ数年、都岳連の業務に理事や専門部長、専門委員として参画する個人会員や女性が増えてきています。新鮮なアイデアと風を送って頂いているところであり、この流れをよりしっかりとしたものになりたいと思っています。「生き残るのは強いもの、賢いものではない。変化できるものだ」これは進化論を唱えたダーウインの言葉です。私たち都岳連も、組織や運営の絶えざる見直しと自己革新により、刻々と変化する時代と迫りくる危機に柔軟に適切に対応する所存です。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます、新年度のごあいさつとさせていただきます。

## 自然保護委員会

山を登る上で欠かせない登山道。道があるから頂に立てる、そんなあたりまえのことを、今年2019年1月の自然保護研修会で環境省国立公園課の徳丸久衛さんは「登山道は奇跡の道」と表現した。そして国立公園内の登山道でも管理責任が明確になっているところは少なくないが、一方で曖昧な部分も多々みられると指摘した。これには「登山道法」的なルールを整備化により、登山道等の整備計画や責任範囲の明確化が必要と説いた。責任範囲が不明確な行政が担うべき登山道及び付帯施設(指す標、鎖、避難小屋など)の管理は、本州中央の北アルプス、八ヶ岳などの有人小屋がある地域では、山小屋主体で行われているという。一方、東北、北海道など有人小屋のないところでは、地元自治体、地域山岳会、ボランティアがそれを担っているというが、人材の高齢化や資金不足で登山道整備が心配であるとも聞く。



また、国のシステムとして自然環境の保護と持続可能な利用を推進していくため、公的資金だけではなく、入域料や寄付金等として費用を集めることができるように、「通称: 地域自然資産法」が2015年に施行された。すでに富士山(入山協力金1000円)、屋久島(同1000、2000円)、伊吹山(同300円)では、実施されているが、大雪山、妙高山、大山、大杉谷でも社会実験として試行されている。これには、登山者のおおむね6~7割の人が賛同しているという。入山者が増加してオーバーユースから山を守るには、受益者負担とする考えはやむを得ないであろう。ただ、問題として、約3割の人は協力しないわけで、「寄付」としてのことでの負担の公平性については議論が起きるだろう。また、電気も人もいない山での利便性のよい徴収方法も課題になる。トイレの利用料負担も同様で、曖昧なチップ制はやめて有料化するべきという提案が言われておりもっともな提案だ。これを東京都の担当者に話したところ、自治体で作った公衆トイレでは料金はとれない、徴収するには条例を作らないといけないと言われた。実現のハードルは高いが我々登山者、都岳連が行政を動かしていかなければ進まないと感じた。

山の環境保全にかかる費用負担、各登山者が考えてもらいたい課題だが、お金を払うだけではなく、例えば鳥取・大山での一木一石運動で、資材を山頂まで運び緑化した活動や、身近なところでは、武甲山のトイレの水を確保するため、登山口から登山者がペットボトルに水を入れて運ぶやり方など、登山者が参加できるやり方があるといい。賛同する登山者も多いはずだ。みんなで知恵を出し合いたい。(自然保護委員会 岡田博行)



## 編集後記

昭和、平成をひと言で振り返ってみると、昭和は戦争と復興、高度経済成長の時代、登山ブーム到来の時代、平成はバブル崩壊による経済低迷と度重なる自然災害との闘いの時代、登山多様化の時代、両時代ともその時々の時、力いっぱい活動してきました。令和の時代、一年を迎えてから世界中を騒がせています。いま新型コロナウイルスによる感染者増大が世界中を騒がせています。東京オリンピック・パラリンピック開催の今年も、たくさんのスポーツ競技を楽しみにしています。みんな一致協力して早く鎮静化してほしいです。ね。令和がウィルスの闘いの時代と言われたいようにしたいものです。この状況では都岳連の事業も中止や延期になったものがあり、こうした校正作業をしても急遽記事の差し替え等が発生しています。外出するのも危険といわれそうな状況で、校正作業等のために都岳連事務所に集まってくれる出版委員にはただただ感謝です。出版委員長 星野恒行

☆ 専門部紹介はお休みします。

## 公益社団法人 東京都山岳連盟

〒101-0041 東京都千代田区神田司町2-10 パークサイドセブン2F

Tel/03-3526-2550 (月~金13:00~17:00) Fax/03-3526-2551(常時) https://www.togakuren.com E-mail:lej04543@nifty.com



## 冬山のセルフレスキュー講習会報告

2020年1月30日(机上講習@オリンピック記念センター)、2月8日-9日(実技講習@土合山の家周辺)の日程で講習会「冬山のセルフレスキュー」を実施しました。まずは机上講習で雪崩発生メカニズムから装備の説明、雪崩遭難に於けるアバランチトランシーバーを使用した捜索方法を学んだ後、実技講習で使用するロープワークを実習しました。フィールドで行った実技講習では、初日にアバランチトランシーバーやブロープの基本操作方法、実践的な掘り出し方法や掘り出した要救助者を然るべき場所に搬送するためのシート梱包およびロープを使用した引き上げ、引き下ろしといった技術を実習しました。2日目は深々と雪が降りしきる中、「登山中、雪崩に巻き込まれた他パーティに遭遇した!」という想定のもと、前日に学んだ内容を活用し事故発生から救助までの一連の流れのシミュレーションを行いました。受講生からは各講習内容とも「よく分かった」という声が多く寄せられました。この講習会がセルフレスキューの知識と、より実用的な技術を身に付けるきっかけとなれば幸いです。令和元年11月吉日



## 2020年 都岳連新春の集い開催報告

2020年1月25日(土)東京グランドホテルに於いて、15時から2時間にわたり、「2020年都岳連新春の集い」が開催されました。当日は100名近くの方々にお集り頂き盛大に開催することが出来ました。ご参加頂いた皆様、様々なお心遣いをお寄せいただいた皆様には感謝申し上げます。ありがとうございます。中嶋正治副会長の開会の言葉で始まり、松本敏会長のあいさつの後、ご来賓の公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会会長の八木原園明様からご挨拶を頂いた後、乾杯のご発声で公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会の元会長の坂口三郎様と田中文男様にいただきました。そのあとご歓談となりご参加いただいた皆様の山岳談義に花が咲きました。スポーツクライミング局からスポーツクライミング東京都代表で活躍している女子4選手を壇上で紹介し、これからの抱負を語っていただいた後、質問タイムもあって楽しいコーナーとなりました。恒例となったビンゴ大会では、多くのスポンサー様にご協力いただき、今年もたくさんの景品が準備できました。数字が出るたびに、歓喜の声やため息が飛び交い、たくさんの商品が参加者全員に行き渡って大いに盛り上がりました。最後は廣川健太郎副会長・専務理事による閉会の言葉で、今年の都岳連新春の集いが無事お開きとなりました。



# おくたま登山学校

2/29、3/1で、雪の北八ヶ岳を歩く『第13回実技『冬の北八ヶ岳を歩く』天狗岳を望むスノーハイク』に行ってきました。1日目のコースは渋の湯から高見石小屋まで。茅野駅からえっちらおちらバスに乗って渋の湯で集合。おくたま登山学校は基本的に現地集合です。なぜならば、現地まで自分で交通機関を使って集合するのも経験だから。自立した登山者になるためには、自分で山に行けなくてはなりません。世間では新型コロナウイルスへの不安が流行するなか、見事に参加者全員が遅れずに集まってくれました。毎度、おくたま登山学校で緊張するのは朝の集合です。ハラハラしながら毎回胸を撫でおろしています。驚くべきことに、これまで集合できなかったことはないのです(確か)。皆さん優秀です。集まったら、いつもの流れで行程や講習の説明をして準備体操をして出発。おくたま登山学校は受講生に対して講師やスタッフがが多いのも特徴です。今回は紆余曲折を経て、講師2人、スタッフ3人、同行専門員2名の7名に対して受講生が8人という、講習会としては異例の比率となりました。いつもは受講生4人に対して講師・スタッフが1名という割合です。今回だけ特別ですが、こうなるとマンツーマンに近いものがありますね。きっとコロナのせい。なんやかやんで高見石小屋に着いたあとは、希望者を連れて白駒池ツアー。高見石小屋から30分ほど下った場所にある池ですが、冬は凍ります。「池の上を歩けますよ」なんて小屋番さんに言われて、半信半疑でしたが確かに歩けました。最初はみんなおっかなびっくりでしたが、氷の上の雪を掘ったら分厚そうな氷が見え、それを見て安心したのでしょうか。徐々に慣れて見事に青苔荘から白駒荘までの池渡りに成功したのでした。美味しい夕飯を食べて翌日。高見石小屋のすぐ横にある高見石を登れば、ご来光を含めた360°の大パノラマが見えるんです。前夜に「日の出の30分前からご来光を待とう！」なんて会話ががあったので真に受けて5時半に高見石に行ったけど誰もおらず、一人ですばい暗闇で独りぼっち。しばらくすると受講生のNさんが



登って来たのでしばらく2人きりで、いい雰囲気の中黎明を眺めていました。あ、僕もNさんも男性ですよ。紳士2人で夜明けを待っていると徐々に人が増え、いつの間にか高見石の上には多数の人が。みんなでキレイなものを見るのはよいものです。一体感ってやつ?山はいいですね。2日目の行程は高見石小屋の横にある丸山に登って体を温めたのち、黒百合ヒュッテを目指して中山へ。おくたま登山学校ではコースタイムの1.3倍で計算しているのですが、今回は健脚揃いだっただけ計算外に早く進み、結果として中山での大展望をゆっくり楽しむことが出来ました。その後、黒百合ヒュッテで美味しいビーフシチューを食べたり、渋の湯で大変に硫黄が強い温泉に入ったりして解散。病気も事故もなく無事に講習を修了出来ました。驚くような晴天と無風の中『天狗岳を望むスノーハイク』というタイトル通りの雪山歩きを楽しめました。ちょっと条件が良すぎましたが、それでも雪山の歩き方、低温環境での立ち居振る舞い、雪の季節ならではの小屋泊の注意点(雪をよく落としましょうとか)など学ぶべき内容があったかと思えます。今年度、というかおくたま登山学校は発足以来4期にわたって無事故で運営できています。今後も無事故で安全で楽しい登山を啓蒙し、参加した皆さんには自立した登山者になっていただけたらと思っています。登山は自分で計画して実行し、仲間たちと(1人で喜んでもいいんですが)成功を喜ぶのが最高です。おくたま登山学校委員会委員長 松本圭司



★自立した登山者になりたい方は是非おくたま登山学校へ。2020年度も4月から講習を開始します。『おくたま登山学校』で検索してください!

## 2020年都岳連シンポジウム報告

2月29日(土)NATULUCK神田北口駅前店3階大会議室で開催されました。時間は3時間程度。参加者は個人会員6名を含み合計25名。新型コロナウイルスの感染者が増える中、重要なテーマなので敢えて開催しました。(予定されていた懇親会は中止)前半第1部、後半を第2部として熱心な討議が行われました。

### 第1部 特別講演「奥多摩の現状」

金邦夫氏(元青梅警察署山岳救助隊副会長)高齢の登山者が山の中で強盗に襲われる事件から始まり、令和天皇が皇太子の時に何度も奥多摩を案内した時のエピソードなどを話していただきました。また山岳遭難に関しては県別の遭難件数では東京都は長野県、北海道に次ぐ3位の件数で、その内の三分の一は奥多摩で発生している。遭難原因は道迷いが一番多く、次いで転落だが、道迷いの結果転落するケースも多い。また亡くなる方は男性の方が女性よりも圧倒的に多いということ。

### 第2部 都岳連の財政問題を考える

瀧本事務局長より平成30年度決算問題についての説明があり、収入と支出の決算期がずれたこと、決算報告の方法などに問題があり、実質的には大幅な赤字決算であったことが分らなかったこと、そして赤字体質になった問題点が報告されました。次いで廣川専務理事より赤字に気がつかなかった原因、なった原因、再発防止策、そして都岳連の今後を考えるというテーマでの説明がありました。次に3つのグループに分かれて、本テーマについての熱心な討議が行われました。各グループによるまとめの発表は以下の通りです。

### ■Aグループ

<財務に関し>-総会・決算月の問題はどうか?  
-都岳連組織の見直し→無駄はないか?-委員会がしっかりする事、財務出入りチェック強化、普通に行えば良い・委員長・会計が普通に機能していればトラブルはない・海外のように入山料、入山規制して補助金が入るようになれば良いかも  
<会員増に関し>  
-都岳連がある事すら知らなかった。知らない人が多いのでは?-都岳連をアピールする。今までそういう場がない。認知度少ない。攻めに出る。-ネットに入る情報の方が、都岳連HPより内容が濃い。-HPより、SNSなどからの発信をもっと強化  
<人材不足>-いまの組織では民間の動きが出来るのか?魅力がない

### ■Bグループ

<会費について>  
-加盟団体一団体一律¥20,000。加盟団体によって金額を変えても良いのでは。  
-人数によって金額の差をつける。但し、相当の反撃があると思います。  
<個人会員について>  
-個人会員横の繋がりが無い、個人会員の中にもグループを作っては?-個人会員の名前が良くない別の名前にしては?  
<広報について>  
-いろいろな施設で都岳連割引き→宣伝になるのでは?

### ■Cグループ

<会員増に関し>  
-個人会員を増やす。安全志向を発信するのが役目です。-奥多摩・高尾山にて登山相談所(靴の結び方など、他の相談を受ける)-缶バッジ、シールを配布-夏山リーダーにて安全登山をアピール-情報発信は横串で行う。



—やっぱり「山岳会の仲間」っていいですよ

# 久保田賢次の四方山話(その4)

春がやって来ました。私自身も還暦退職後に大学に入れてもらってから1年が経ちます。筑波大学の山岳科学学位プログラムというところで、理学、農学、工学などの多岐に渡る分野から、「山」についての見識を深められただけでなく、生まれ育った故郷でもある筑波山地域で、研究やボランティア活動などをなさっている多くの方々と面識ができたのも、大変ありがたいことです。過日、自然保護関連のある講座で、非常勤講師としていらした先生から、感動的なお話を聞く機会がありました。長く環境行政に関わって来られた人でしたが、私自身も学生の頃、反対運動に少しだけ関わらせてもらった南アルプス・スーパー林道の問題に始まり、知床、釧路湿原、白神、長良川、諫早湾...等々、日本の開発と自然保護の歴史についての行政の立場からのお話は、その時代時代の思いや行動を振り返らせてくれる懐かしいものでもあり、登山者や自然愛好家とはやや異なる視点が新鮮でもありました。なかでも、私の心に深く刻まれたのは、ある人がおっしゃっていたという言葉で、「これからの自然保護の現場を支えるのは20代と70代です」というものでした。確かに就職前の20代前半の人たちや、仕事をリタイアした70代の方々が、時間的にも動きやすいのは確かです。社会への不満や期待、あるいは、これまでの省みでの希望なども溢れているような気がします。そして、同じことは、私たちの居る登山界でも言えることのように思いました。私が山を教わったり、仕事でお世話になって来た山の先輩方は、集大成とも言える行動に入っているらしいです。若い頃からの山行記録を纏めたり、沢山の蔵書を整理されたり。そうした登山人生の総決算は、言葉は少し違うかも知れませんが、「終活」と呼ばせていただいてもいいのかも知れません。



子供の頃に遊び回った筑波山麓。この野山も時々実習の舞台となる。小学校に上がる前に見た風景の大きさと、還暦を過ぎて眺める姿は似て非なるものだが、こうした光景が残っているだけでもありがたい。山は足尾山(中央)と加波山(右)

そして、私が今、日々お付き合いさせてもらっている学生の皆さんは、将来の夢や人生設計を語るなど、まさに「就活」中です。久保田賢次(徒登山山岳会会員)先のお話を聞いて、この20代と70代が、いかに力を合わせて行動できるかが、今後につながると思います。単純計算でも20+70を2で割ると45。自分自身を振り返っても、40代はまさに最も力を発揮できる年齢だと思います。都岳連でも、かつて加盟団体シンポジウムなどの場で、各山岳会の高齢化を巡る課題などについて、話し合われたことがあったと記憶しています。しかし、視点は「高齢化、熟年化のなかに、どうすれば若い人を取り込めるだろうか」「若い人に馴染んでもらうにはどうしたらいいか」といった傾向になりがちです。もちろん、年長者が経験や体験を「伝える」ことは大切です。しかし、それは一方的に「教える」こととは、やや違うような気がします。逆に若い世代から「教えられる」ことも多々あるはず。自由に動ける世代同士が協力し合って何かを進められたらいいなあ。若い人たちに何かと助けてもらいながら、楽しい学び直しの日々を送りつつ、まさに「終活」と「就活」のはざ間で、今、そんなことを考えています。

(くぼたけんじ)1958年茨城県筑波山麓に生まれ。徒登山山岳会所属。昨年末、山と溪谷社を退職。現在は東京都山岳連盟救助隊に所属。筑波大学山岳科学学位プログラム在籍、日本山岳救助機構研究員、日本環境ジャーナリストの会会員、山の日アンバサダーなど。

## 優待施設紹介

### たかの湯 ～木曾御嶽山三号目に佇むお宿～

当館は創業120年になります。御嶽山は山岳信仰の山で当館も当初は信者さんのお宿でした。現在は通常の観光の方、ツーリング、スポーツ合宿、スキー、スノーボードなど様々なお客様をお迎えしております。ただ残念ながら5年前の御嶽山の噴火で当館のある王滝口からの登山はできなくなっており、以前はシルバー世代の登山のお客様にご利用いただいておりますが、現在は皆無となっております。昨年には登山口が開く予定でしたが結局天候不順で中止となり、今年こそは何とかなればと祈念しております。当館は家族経営で気取らずお気軽にご利用いただけます。お食事は女将の手料理で好評です。料金も団体様、個人様ご相談に応じておりますので王滝口をご利用可能になった折にはぜひとも心がけていただきお引き立てをお待ちしております。



## 全国優待施設案内

### ●宿泊施設

- 奥多摩 三条の湯・駒鳥山荘
- 奥秩父 雲取山荘
- 富士山 トモエ館富士山八号目・三つ峠山荘
- 谷川岳 土合山の家・やど千秋庵・谷川岳肩の小屋・旅館 永楽荘・旅館たにかわ
- 東北 焼き走り国際交流村・ペンションあるべじお・酸ヶ湯温泉・飯豊山荘・八幡平マウンテンホテル・八幡平高原ホテル・アルプ天元台・ハイランドホテル山荘・八甲田山荘・奥の湯 森吉山荘・国民宿舎 竜山荘・元湯甲子温泉 旅館大黒屋
- 南会津 茅葺屋根の民宿「離騒館」
- 日光 日光澤温泉・スパビレッジ カマヤ・奥日光小西ホテル
- 浅間 天狗温泉 浅間山荘
- 尾瀬 尾瀬小屋・大清水小屋・山ノ鼻小屋・燧小屋
- 那須 三斗小温泉大黒屋
- 六日町 榎廣館
- 丹沢 蛭ヶ岳山荘・みやま山荘
- 八ヶ岳 蓼科山頂ヒュッテ・赤岳展望荘・ヒュッテ夏沢・八ヶ岳山荘・美濃戸山荘・硫黄岳山荘・根石山山荘・夏沢鉱泉・オーレン小屋・ペンションさんどりよん
- 妙高 滝の湯・ホテル花文
- 長野 御嶽山たかの湯・Royal Hotel 長野

- 南ア 北岳肩ノ小屋・山彦荘・赤石温泉
- 北ア 雷鳥荘・みくりが池温泉・ひがくの湯・八方アルペンライン・桐池パノラマウェイ・白馬岩岳ゆり園&マウンテンビュー・岩岳の湯・明神館・白馬八方温泉・桐池高原 桐の湯・太郎平小屋・薬師沢小屋・高天原山荘・スゴ乗越小屋・雷鳥沢ヒュッテ・ロジック立山連峰・中房温泉・殺生ヒュッテ
- 鳥取 ホテル大山しろがね・皆生温泉 三井別館
- 伊吹山 ペンションいぶき
- 徳島 剣山頂上ヒュッテ
- 鹿児島 アクティブリゾート霧島
- 福岡 アクティブリゾート福岡八幡

### ●登山用具販売店

- 神田 さかいやスポーツ
- 川越 秀山荘川越店
- クライミングジム
- 葛西 ロックランズ
- 西東京市 GIRI.GIRI

